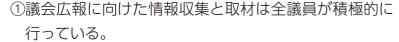
議会の発信力を高めるには

設置された政策調査部

議会の広報活動の充実、推進に向けて発足した政策調 査部は、町村議会広報コンクールで4連覇している埼玉 県寄居町議会とのオンライン視察を実施しました。瑞穂 町議会との主な相違点・類似点は次の通りです。





出席者:小川龍美リーダー、

大坪 国広サブリーダー

村上 嘉男、香取 幸子

亘、下野 義子、

オンラインによる視察研修

- ②議会だよりは、全議員によって集められた情報に基づいて編集委員(8名)が担当する。
- ③議会活動に対して議会モニター(町民代表数名)から意見をもらう。

特に、寄居町議会は、「議会だより」に限らず、議会の広報広聴全般に対して「議会広 報広聴特別委員会」が核となっていることなどから、瑞穂町でも核となる委員会の存在が 必須であると学ぶことができました。議会モニターや広報広聴委員会の早期立ち上げに向 けて、さらなる調査を継続していきます。

観光を町の顔にしたい

観光協会と総務産業建設委員会 との意見交換会

出席者:石川 修、下澤 章夫、 大坪 国広、下野 義子、 榎本 義輝、原 村上 嘉男、古宮 郁夫



意見交換会の様子

瑞穂町観光協会から、総務産業建設委員会に意見交換 会の申し入れがあり、4月11日に開催しました。

観光協会の役員の方から、「さくらまつり」「サマーフ ェスティバル」を主催していること、事務所がないこと、 法人格を有する団体でないこと、役員の高齢化が進んで いること、会の継続が困難な状況にあること、一方で、観 光が瑞穂の顔になれるように、運営方法やイベントなど についてアイデアを出し合っていることなどの説明があ りました。委員からは、議会での動きについての説明や、 経営状況、法人化に向けての課題などを質問しました。 観光協会の役員の方から議員に対してもっと観光に興味 を持ってほしいといった話もありました。

最後に副会長から「みんなに役立つ観光協会になれるように、今日を最初の意見交換と し、今後も続けていきたい」との言葉で終了となりました。



小川 龍美 議員(公明党)

女性のデジタル人材育成の 取り組みを



所見を伺う。

組むべきと考えるが

共同参画の

重点方針2

我が町も女性の

に女性のデジ

デジタル

人材育成に取

と試算されて

いる。

政

用できる

「地域女性活

「女性活躍・男女

は2030年には最

人不足する

支援に地方自治体が活

なる

増加が問

心、2022年度ル人材育成の推進を

大坪

国広

議員

(日本共産党

はならない

町長 地域女性活躍推進交付金を

町長 デジタル分野で 男女の できな 能力開発だけでは対処 差ではなくデジ

,ルスキル向上や就労,算案には女性のデジ 町全体の社会構造をデビ社会貢献の双方で活た、性別にかかわらず、たい世代が町で家庭力を社会司を組み合わせまる方向と、 いくことは必要である 地域女性活躍推進交付 格差が残存する以上、 社会的地位の

指躍で

女性が活躍する子育て応援課

れた場合、丁寧な対応に限らず相談が寄せら支援センターでは難聴町長 2か所の高齢者 相談窓口を設置すべきのため、講座の開催や開② 難聴の早期発見



小型化された補聴器

制度化は難し

設につい の





ならない。男女の賃順と共に進めなくてル就労ができる環境

家族や 社会から 難聴は あると □の設置は考えてい難聴に特化した相≫

えていないた相談窓

ついての認識は。補聴器使用の重要 長の所見を伺う。 高齢者の難聴と 重要性に

い。 ため、有効であると思 や孤立防止につながる ・ 生活機能の向上

事業」 器購入助成制度」 を活用 都の きと考えるが 補聴 を創

次の3点について、 スクが高まる。 もりや認知症になるリ

対策区市町

村包括補助

そこで

孤立しやすく

引きこ

ため、

都の 補聴器

「高齢社会

は難しい。 らない状況では制度化 数回購入しなければな も多い。厳しいなに活用されていな 況で、 も多い とともに進み、 購入しなければな 症状に合わせて

担となる。症は一部助成である い。厳しい財政状の。厳しい財政状が、、厳しい財政状が、、購入後いをは、、購入後のであり、それが成であり、それが、

19 ギカイのひろば Vol.232